

## 平成19年度当初予算 施策別概要

### 521 多様な主体の参画による 地域社会づくりの推進

(主担当部：生活部)

52101 多様な活動主体による協働の推進 (生活部)

52102 県民の社会参画活動への支援 (生活部)

#### < 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) ネットワークを形成し、他の主体とも協働しながら地域社会づくり活動を行っている

#### < 施策の数値目標 >

施策目標 項目 (主指標)	NPO (ボランティア・市民活動団体等) の数	目標値	1,900 団体
		現状値	1,420 団体 (2005 年度)

県が、地域の市民活動センターとも連携し把握している県内のNPOの数

県の取組 目標項目 (副指標)	ふりかえり(検証)を行った協働事業数	目標値	35 事業
		現状値	22 事業 (2005 年度)
	ふりかえり(検証)コーディネーター(調 整者)の人数	目標値	50 名
		現状値	31 名 (2005 年度)

#### < 現状と課題 >

- ・ ボランティア活動や市民活動に対する社会的関心が高まるにつれて、法人格を取得するNPOが増加するとともに、各地域に市民活動団体等を支援する民間のNPO支援組織が育ち、各市町においては市民活動センターが設立されるようになってきました。その一方で、活動基盤の脆弱なNPOが多くみられます。
- ・ また、公共分野におけるNPOと行政との協働関係の構築や質の向上が求められていることから、協働のルールや協働を検証するしくみを一層普及・浸透させていく必要があります。さらに、NPOがNPO支援組織と共に地域社会づくりに取り組むことができる環境づくりを進めるため、NPO支援組織の基盤強化に向けた支援を行っていく必要があります。

#### < 平成19年度 of 取組方向 >

「新しい時代の公」を担う多様な主体の連携、協働による県政を進めるためには、NPOと行政との協働がますます重要となります。NPOからの協働事業提案募集を行い、企画段階から協働する取組を進めます。また、実施した協働事業については、事業実施前、中間期、実施後に、それぞれが記入した自己チェックシートをもとに、第三者のコーディネーターを派遣して「ふりかえり会議」を実施し、事業当事者間で、それぞれの役割分担や協働の手法、目的の

達成状況等について検証を行うことにより、協働のしくみの推進と定着をはかります。

「みえ市民活動ボランティアセンター」の機能充実や、市民活動に関する情報の受発信機能強化により県民の主体的な社会参画活動の活性化を促進するとともに、各地域の市民活動センターと連携して各地域のセンター機能の充実と市民活動支援の強化をはかります。

<主な事業>

「新しい時代の公」協働推進事業【基本事業名：52101 多様な活動主体による協働の推進】

当初予算額： 5,373千円 4,160千円

事業概要：先導的、試行的に取り組む「新しい時代の公」実践・提案事業として、職員の人材育成とNPOからの協働事業提案および協働の検証のしくみ（ふりかえり会議等）を全庁的に推進することにより、県民等と行政の役割分担や協働のルール、新しい参画システムを県・市町に広めます。

NPO活動支援推進事業【基本事業名：52102 県民の社会参画活動への支援】

当初予算額： 25,804千円 24,697千円

事業概要：「みえ市民活動ボランティアセンター」について、情報のキー・ステーションとしてホームページや情報紙を活用した市民活動に関する情報発信を充実するなど、県民のさまざまな活動や交流を支援する拠点機能の充実をはかります。

(新)地域市民活動センター連携事業【基本事業名：52102 県民の社会参画活動への支援】

当初予算額： - 千円 3,184千円

事業概要：「みえ市民活動ボランティアセンター」と各地域の公設・民設の市民活動センターが連携して、市民活動支援機能を充実させるための研修会の開催や活動団体の情報共有化、NPO法人に関する相談業務などを実施し、各地域のセンター機能の充実と市民活動支援の強化をはかります。